

会議の概要

会議の名称	令和4年度第2回あま市地域福祉計画推進委員会
開催日時	令和5年2月24日（金）午後2時から
開催場所	あま市甚目寺総合福祉会館 1階 会議室
議 題	1 あいさつ 2 議題 (1) 地域福祉に関するアンケート等調査報告書について (2) 第3次あま市地域福祉計画の策定スケジュール（予定）について 3 その他
会議資料	1 あま市地域福祉に関するアンケート等調査報告書【概要版】（案） 2 あま市地域福祉に関するアンケート等調査報告書（案） 3 第3次あま市地域福祉計画の策定スケジュール（予定）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	なし
出席委員	富田 悦充      渡邊 剛      鈴木 千鶴      静谷 貴代子 服部 章平      井村 なを子      谷川 輝純      加藤 美由紀 溝口 由紀江      溝口 正己      安江 利成      牧村 順一 立松 愛唯
欠席委員	小林 直也      三木 優      石田 洋子      後藤 幸元
事務局	社会福祉課 課 長 国立 強志 主 幹 大野 美代子 課長補佐 寺尾 香名子 係 長 加藤 秀一 主 査 金森 弘高  Next-i株式会社 安村 眞也

議事内容

事務局	<p>本日は大変お忙しい中、また、お足元の悪い中、地域福祉計画推進委員会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。ただいまから「令和4年度第2回あま市地域福祉計画推進委員会」を開催します。</p> <p>本委員会は、あま市審議会等の会議の公開に関する要綱第3条に基づき、公開で開催いたします。本日は、傍聴人の方はございませんので、ご報告申し上げます。</p> <p>本日は所用により、小林委員、三木委員、石田委員、後藤委員から、ご都合によりご欠席のご連絡をいただいておりますので、こちらもご報告いたします。</p> <p>また、本委員会には、事務局のほかに、社会福祉協議会の職員に加え、第3次地域福祉計画の策定をお手伝いいただき、Next-i株式会社の担当者も同席させていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、開会に当たりまして、牧村委員長よりごあいさつをよろしく願いいたします。</p>	
委員長	<p>皆さま、おはようございます。委員長の牧村でございます。</p> <p>本日は大変お忙しい中、地域福祉計画推進委員会にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>さて、第2次地域福祉計画は本年3月で4年目を終え、4月から最終年度の5年目を迎えることとなります。令和6年度から第3次地域福祉計画をスタートさせるに当たり、今回は次期計画の策定に向けたアンケート調査の結果をご報告するとともに、調査から見えてきた地域課題について整理してまいります。また、第3次地域福祉計画の策定スケジュールをお示しし、より良い計画となるよう努めていきたいと考えております。各委員におかれましては、それぞれのお立場から、ご意見をたまわりますよう、お願いいたします。</p> <p>また、本委員会の所要時間は60分を予定しております。このあと3時からは、社会福祉協議会の委員会もございますので、会議の進行につきまして、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここで、本日の会議資料を確認させていただきます。</p>	
事務局	<table border="1" data-bbox="424 1585 616 1626"> <tr> <td>資料確認</td> </tr> </table>	資料確認
資料確認		
事務局	<p>それでは、あま市地域福祉計画推進委員会要綱第6条第1項の規定により、ここからの議事進行は、牧村委員長をお願いいたします。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>	
委員長	<p>それでは、次第に沿って進めます。</p> <p>『議題(1)「地域福祉に関するアンケート等調査報告書について」』、事務局より説明をお願いします。</p>	
事務局	<table border="1" data-bbox="424 1917 906 1957"> <tr> <td>資料1、資料2に沿って説明</td> </tr> </table>	資料1、資料2に沿って説明
資料1、資料2に沿って説明		
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、事務局から調査結果について説明がありました。何かご質問</p>	

	<p>やご意見はございませんか。</p>
委員	<p>回答者は60代から70代の方が半数近くいますが、アンケート対象者の年齢別の割合は一緒でしょうか。</p>
事務局	<p>年代別について、18歳から29歳をはじめとして、30代、40代、50代、60代、70代以上の6枠に分かれております。それぞれ500人ずつで、合計3,000名に発送させていただいております。</p> <p>回答をいただいたのが、ご高齢の方が多かったところです。</p>
委員	<p>回収率は若い方が低かったということですか。</p>
事務局	<p>そうですね。ご回答いただける方が少なかったということです。</p>
委員	<p>イメージとしてやはり、従来型の福祉の意見が多い様な感じで、今は共生社会とも言われていますので、もっと若い方のご意見があるのかなと思っていました。</p> <p>前回のアンケート調査と比べて何か特徴的なところはありますか。</p>
事務局	<p>前回のアンケートと比べて、一番多くあったのはコロナの影響ということで、特に関係団体では、活動などに相当の影響があったということと、市民アンケートの中でも、コロナの影響でなかなかつながりが持てなかったというところがございます。</p> <p>前回は平成29年度に調査を行ってしまして、その時はコロナというのはなかったところなのですが、今回は明らかにこの点の課題がとして目立った結果になりました。</p> <p>それ以外は、社会的な背景も含めて、個々人、あるいはご家族の生活課題というところも、多様化・複雑化しているところもあり、どこに相談したらいいか悩んでいたということもございましたので、前回のアンケートと比較すると、大きく2点がアンケート結果として違ったところを把握しております。</p>
委員	<p>意見としてという形になると思いますが、教育に携わるものとしては、最近、不登校など、色々な問題がありますので、もう少し若い人に支援してほしいという意見が出るのかなと思っていました。</p> <p>先日の社会福祉協議会の理事会でも話させていただきましたが、ヤングケアラーという言葉も今ありまして、子どもや先生が苦勞している状況にあるので、どうかなと思いました。</p> <p>もう一つ印象として、冒頭から自治会と書いてありますが、ある人が、市役所の方へ「自治会は入らなければならないのか」と質問したら、市の職員からは「自由だから入らなくていいですよ」とおっしゃったとのことで、そうだとしたら、今後の自治会の活性化は進められないのではないかと思います。</p> <p>10年も前から市としてコミュニティ協議会ということで、ボランティアで地域のつながりをするということをしていますよね。防災に関しても、自主防災会を各地区に作りなさいよなど、部署によって色々な話が地域に降りてきているわけです。</p> <p>やはり、アンケートの結果も、市の中で横のつながりを持って共有して</p>

	<p>いただいて、一つの方向に、なかなか難しいかもしれませんが、色々手を打っている部分が既にあるので、そういうことに触れたり、統一的な計画づくりに配慮していただきたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。大変貴重なご意見をいただきました。ほかにご意見やご質問等があればお願いします。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>結局、コミュニティの再生ということは、行政でこれから考えなければならぬと思います。</p> <p>今言われている自治会・町内会も、入る人がいないですよ。入って何のメリットがあるのかということ。それなのに、町内でゴミ集めをした時はゴミを持ってきます。それで入っていないのに何故持ってくるのかということになる。</p> <p>要するに、横のつながりがものすごく希薄になっていて、今は世の中自体がそういう時代なのか分からないですが、個人の自由にあろうし、世の中の多様性の問題もあるだろうしということで、もう少し具体的にコミュニティの再生についてのアンケートが欲しいと思います。</p> <p>毎回これを聞いていますが、内容がいつも一緒ですよ。そういうことを何度も同じことを聞いている感じがします。具体化されていないことがたくさんあると思います。アンケートを取っても、それが実際に具体化されているかどうかの検証を一回していただけたらと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ある意味で古くて新しい問題でもありますけれども、ただ、現代社会というのは、あま市でも、名古屋市でもそうですが、今の社会は黙って放っておいたら、一人一人が最後にはバラバラになって一人ぼっちになってしまいます。</p> <p>さらに言えば、一人で生きていけるだけの社会的な装置、例えばコンビニとか、そういうものが十分に備わっている。そうすると一人でも生きていける。こういう社会的な基盤が形成され、それが意図して作られたかどうかは別にして、そういう形になってしまっている。</p> <p>だからこそ、委員からご指摘があったような形での横のつながり、コミュニティの重要さが大切になっていっている世の中であるはずだが、そこについてまだまだ議論が足りない、もしくはそのための方法論が充分活用していない。地域ごとに合った形でそれをどう構築していくのかという、きめ細かな方法論を少しずつ考えなければならない時代に入ったという気がしています。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>何かと「社会」という言葉に変換していると思います。</p> <p>個という事を個が発信する、個の義務、個がやらなくてはならないことがたくさんあるが、それが二の次になっているのではないか。</p> <p>やはりその辺りのことも言えないのではなく、社会を構成するには個がしっかりしないと社会は構築できないと、その周知がまだ徹底されていない。基本の基本は自分であると、それが徹底されているのかなと思います。</p>

	<p>す。</p> <p>まずは自分たちのことを理解し、そして自分たちの環境をきちんと、お互いに理解し合いながらやっていく。共助という言葉があるように、言葉はあるけども、自分の意識改革、個々の意識改革はどうなったか、ここが周知されていないので、重点的にやっていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど、コミュニティの話がありましたが、今現在、いわゆる地域コミュニティであるコミュニティ推進協議会が、あま市の中で 14 コミュニティ存在しています。お聞きしているところによりますと、いくつか市民活動センターに登録しているコミュニティ連絡協議会もあります。そういった方々はしょっちゅうセンターを利用されます。</p> <p>やはり、色々な問題があったり、そういったところを相談したり、すぐには解決しないですが、コミュニティ同士で交流して、悩みを共有するというような。先日もそういった交流会を開催させていただきました。</p> <p>また、市の方で所轄をしていないとお聞きしています。コミュニティの推進に対して補助金を出しているということはお聞きしていますが、市民活動センターは、コミュニティ連絡協議会は一つの市民活動団体として、希望する団体は登録してくださいという風に伺っていますので、私どものセンターでケアをしていいところではあるのですが。</p> <p>先日、久しぶりに交流会を開催させていただきましたけれども、色々なたくさんの、地域に関連する自治会のリーダーの方々もいらっしゃいましたし、個人の方々もいらっしゃいました。そのような中で、子ども会の方が、非常に子ども会の存在は必要だと思うが、今の形では辛いと。仕事もしなければならぬし、毎月のように廃品回収にいかなければならないといった旧態依然としたルールに縛られたり、それが自分の代で変えられないなど、そういったところを柔軟に変えていかなければならないのですが、なかなか今、コミュニティの中では変えにくいとよく聞くのですが、やはり余所者の存在も必要だったりするのではないかなと感じております。</p> <p>そういった声が今回のアンケートにあまり反映されていなかったり、市民活動センターには今、若い担い手も少しずつ来ていますし、また、コミュニティスクールということで市民活動センターに対して要望があれば、学校の方に出向いて市民活動団体の PR や、地域にどんな団体が活躍しているのかを子どもたちに知っていただいたり、という事もしています。</p> <p>その結果、近くの小学生が先日市民活動センターに遊びに来て、「僕にもできるボランティアはないか」と尋ねてきた。そうしたら、明日ですが回路の回収をやっている団体があるので、そのボランティアに参加したいということで、保護者の同意を得て来ます。</p> <p>そういった小学生でも何か自分が役に立ちたいという、それが意識の向上だったり、個の育成なのかなと。個の意識付けというのを、アンケートではなかなか読み取れない部分ですが、少し何かできることは無いのかなと感じました。</p>

<p>委員</p>	<p>私はある市に住んでいますが、その中で、いわゆる町内会のようなものがあって、その中で年番というものがあり、順番に家を回って行って誰かがやるわけですが、だんだん年齢層が上がってきて、「うちは女一人で子どもしかいないので、うちはやれない」とか、そういうようなことがよく出てくるのですが、でも子どもさんがいらっしゃるよねということで、話し合いをして、「そういうことであればうちは無理なので、この会を脱退します」ということで。</p> <p>自分が以前、年番をやった時に、次の方がそういうことを言われて非常に苦労したことがあったのですが、結局そういったつながりを作っていくには、その娘さんと私もそんなに年は離れていないので、子どもの頃から地域に出ていくような、そういうようなつながりができると良いのかなと思います。</p> <p>学校現場にいる者として、こういった問題をどうしていけば良いのかということで、報告書にボランティア活動とありますが、子どもの年代からボランティアというものに携わっていくと、一緒にボランティアをして、その子たちがだんだん大きくなっていくって、やはり人のために、地域のために活動することが大事なことだな、素晴らしいことだなという風になっていくと良いですから、今こういう現状で我々の立場として何が出来るのかを考えると、やはり学校でこのボランティアがあるけどどうかなといった紹介をして、本校でも職員がいるところにボランティアのプリントがかけてあって、子どもたちそれを見に来てくれるのですが、あま市のイルミネーションの取り付けであるとか、あまのわには本校も参加していますが、そういった形で地域の人と一緒に仕事して、その子たちが育っていくと、つながりができていくのかなというところをすごく思います。</p> <p>このアンケートにも18歳から29歳が50歳以上の方と比べるとちょっと数値は少ないんですけども、18歳から29歳のところの数値が結構あるのかなというように思うと、もう少し下の年齢で取ると、案外「参加している」とか「参加したい」とか、「出来れば参加してもいい」といった数字が大きくなるのかなと思います。</p> <p>そうやって子ども達を地域で子ども時代から育てていくというような活動ができると、つながりが生まれてくるのかなと思いました。そういう活動がまたこれからもできていけたら良いのかなと思います。</p> <p>あま市まちづくり委員会にも参加させていただいて、そこでお祭りをやったらどうかや、もっと色々なことをPRしてみたらどうかなど、そのような話し合いにも参加させていただいていますが、ボランティア活動を子どもの中で広めていけるかなと思っているところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。皆様から活発なご意見、ご質問いただきました。進行もあり、ご意見あるいはご質問は今を持ちまして区切りとさせていただきます。</p> <p>事務局は本日いただいたご質問やご意見を踏まえ、報告書案を仕上げ、報告書の作成を進めていただきたいと思います。</p>

	<p>それでは、続きまして、『議題（２）「第３次あま市地域福祉計画の策定スケジュール（予定）について』、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料３に沿って説明</p>
委員長	<p>ありがとうございました。  ただいまご説明いただきました、第３次地域福祉計画の策定スケジュールにつきまして、各委員からご質問やご意見はございますか。</p>
委員	<p>特になし</p>
委員長	<p>特になさいますので、事務局は第３次計画の策定に向けて、スケジュールをもとに取り組んでいただきたいと思います。  以上をもちまして、本日の議題はすべて終了いたしました。委員の皆さま、議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。  それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。  本日も皆さまからいただいた貴重なご意見をもとに、調査結果報告書を仕上げまして、第３次計画の策定に努めてまいります。ぜひ今後とも、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。  次第の最後「３ その他」は事務連絡でございますが、次回の委員会は令和５年９月から１０月を予定しております。具体的な日時は後日調整をいたしまして、開催日の１か月前には、書面にてご連絡差し上げますので、どうぞよろしくお願いいたします。   本日は大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。これをもちまして、令和４年度第２回地域福祉計画推進委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。  このあと５分ほど休憩をはさみまして、３時５分から、こちらの会場にて、「あま市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会」を開催いたしますので、引き続き、よろしくお願いいたします。  本日はご出席いただき、ありがとうございました。</p>